



医学・看護学教育通信

Medical and Nursing Education News

第18号

発行 2009.2.27

医学部の防犯・防災管理について

近年、大学での防犯・防災管理体制を考え直さなければならぬ事例が発生しています。特に、中央大学での事例は衝撃的でした。佐賀大学でもこれまでも盗難等発生していることはご存知でしょう。研究室によってはドアに指紋認証キーを設置している部屋もあります。

私たちは防犯・防災に関してどう対応すべきでしょうか。学内で不審者や不審物を見かけた場合は、自身の安全を確保したのち、速やかに防災センター（内線 3119 または 34-3119）に連絡してください。病院の時間外受付横にある防災センターでは24時間体制で学内の警備を行っています。

日ごろ私たちが防犯・防災に関して気をつけておくべきことはなんでしょうか。各部屋の施錠の確認は言うまでもありません。特に夜間や休日は、建物の入口はオートロックになります。出入りの場合は、確実にロックされたことを確認ください。

医学部や病院には、外来入院患者さんやその関係者あるいは医薬品や機器の納入業者等様々な人々が入り出しています。誰が不審者かを見分けるのは簡単ではありません。そのためには、互いに挨拶を交わすことも抑止策の1つになると思われます。社会人のマナーとしても、患者さんへの対応の基本としても、挨拶はきちんと行ないましょう。見かけない人には、「どちらをお探しですか？」などと、声をかけることもいいでしょう。職員学生は名札を着用して、医学部の一員であることを互いに確認することも必要でしょう。

阪神淡路大震災や福岡県西方沖地震のように、佐賀でも将来大規模な災害に遭遇する可能性はないとは言えません。災害時に職員学生は何をすべきか、附属病院は災害拠点病院としてどのように体制を維持するか、などを示した「災害対策マニュアル」を現在整備中です。これまでに火



災等の防災訓練は、毎年病院を中心に行なわれています。しかし、今後は学生も含めた防災教育や、医学部全体での災害対策訓練も計画していかなければなりません。

日々の生活での安全衛生上の問題点を確認するために職場巡視が、毎月、安全衛生委員会により行なわれています。これ以外にも、皆さんが防犯・防災上、気がついた点があれば総務課または、学生サービス課に連絡してください。

医学科入学定員の増員について

既に新聞報道等によりご存知かとは思いますが、平成21年度の医学部医学科の入学定員が現行の95名から100名に増員されることとなりました。これは「緊急医師確保対策」による2名と「経済財政改革の基本方針2008」による3名増員の合計5名の増員です。

増員5名の選抜については、今年度実施している平成21年度入学者選抜試験において、佐賀県推薦入学特別選抜2名、前期試験3名（50名から53名に変更）で行われますが、来年度実施する平成22年度入学者選抜試験では、佐賀県推薦入学特別選抜は2名ですが、推薦入学を現行の25名（地域枠8名以内）から28名（地域枠11名以内に）変更する予定で調整中です。

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、
江村正、藤田君支、田崎法人

ご意見をお待ちしています (oday@cc.saga-u.ac.jp)

